

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○地域おこし協力隊員として着任した隊員の起業を助成		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	地域おこし協力隊起業支援事業																
施策の目的	都市圏などから本町へ移住し、地域おこし協力隊として活動した隊員が、本町に定住・定着できるように起業資金を補助し、本町の活性化を図ることを目的とする。																
具体的な施策内容	補助金の交付																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	3	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名				金額						
18		補助金		521			一般財源				521						
計				521		計				521							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協力隊の受入れ人数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	2					
協力隊の卒業後の定住率	目標	60%	60%	60%	60%	60%	A
	実績	87.5%					
卒業隊員の起業支援活用実績	目標	50%	50%	50%	50%	50%	A
	実績	50%					
【評価】							
<p>●R2年度は対象者2名に対し、1名が起業支援補助金を活用した。</p> <p>R2年度に起業した隊員の事業内容としては、隊員の得意とするヨガを盛り込んだ民泊事業を中心として、オンラインでのヨガ講師やユイツナグミュージカルの開催を予定していた。しかし、昨今のコロナ禍の影響により、予定どおりの事業実施は出来ず、コロナ終息後の事業展開を見越し必要備品の整備やユイツナグミュージカルの練習実施等を行った。</p> <p>本町の卒業隊員の動向として、8名中7名が本町在住であり定住率は87.5%となっている。</p> <p>卒業後の定住・定着率向上や地域活性化を図っていく為にも、協力隊の卒業前から起業についてのフォローが出来るように体制作りを行っていき、卒業後の起業及び定住・定着へ繋げている。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	森 吉広
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○町づくりの応援隊としてシルバー人材を活用		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町シルバー人材センター運営費補助事業		
施策の目的	高齢者の就業を促進することにより,高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに,その家族や地域社会に活力を生み出し,ひいては地域社会の活性化につながる。		
具体的な施策内容	地域社会に密着した「臨時的かつ短期的」な仕事を家庭,事業所,官公庁等から引き受け,これを加入している会員へ,その希望や能力に応じて斡旋するシルバー人材センターに対し,運営費を補助する。		

【経費内訳】

款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額	細節	費目名			金額							
18	2	補助金			3,200	4	(過疎債ソフト分)シルバー人材センター運営費補助事業			3,200							
計					3,200	計					3,200						

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
シルバー人材センター会員数	目標	100人	100人	100人	100人	100人	B
	実績	59人					
	目標						
	実績						

【評価】

会員数59人で,合計148件23,714,944円を受託。延べ377の方が従事され,配分金として総額22,899,828円を支出。
高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに,地域社会の活性化につながった。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○本町事業所が若者を新規雇用する際の必要経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町起業家支援補助金交付事業(若者新規雇用)		
施策の目的	町内において新たに35歳未満の若者を正規雇用した事業所を支援する。		
具体的な施策内容	起業家に雇用される常勤の雇用者のうち、事業の開始等に伴い新たに雇用される町内に住所を有する者で、雇用の日から継続して6か月以上雇用され、雇用保険に加入する者(ただし、3親等内の者を除く。)に補助する。 ・起業家支援事業で雇用した者には20万円、企業立地等促進事業で雇用した者には45万円		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	1	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額				
18	002	117_若者新規雇用助成				1,300		(一般財源)				1,300				
計						1,300	計						1,300			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
若者新規雇用者数(人)	目標	3	3	3	3	3	A
	実績	4					
	目標						
	実績						

【評価】

- ・昨年度は若者新規雇用として3名を目標としていたが、4名の新規雇用者があった。
- ・瀬戸内町商工会と協議しながら、町内事業所が若者を雇用しやすいよう、瀬戸内町起業家支援補助金交付要綱の見直しも図り、よりよい補助金となるよう取り組んでいく。
- ・押印を無くし、申請書類等の簡略化を図る。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○在宅オペレーター育成のための研修会		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	在宅オペレーター育成事業		
施策の目的	文字入力や採点作業、コールセンター業務など、好きな時間に自宅のパソコンで仕事を行うことができる在宅オペレーターの育成を目指す。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅にパソコンを所有し、インターネットを使える環境にある方 ・在宅オペレーターの研修を受け、必要なスキルを身に付けることにより、好きな時間に仕事を行うことができる。 ・業務は完全出来高制 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2 (H29年度分)	R3 (H30年度分)	R4 (R1年度分)	R5 (R2年度分)	R6 (R3年度分)	自己評価
1人あたりの町民所得(千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,277					
県民所得との対比(%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90.0	A
	実績	90.6					
	目標						
	実績						

【評価】

令和2年度は、コロナ禍において研修会を開催することが出来なかったが、令和3年度からはオンラインで行える在宅オペレーター研修会なども活用することで、在宅オペレーターの育成を図っていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○新規就業者の漁船漁具等の初期投資を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	新規水産業就業者特別対策事業		
施策の目的	離島漁業の維持、発展のためには新規就業者の定着が重要であるが、新規就業者は自ら漁船、漁具等を取得する必要がある。そのために初期投資負担を軽減し新規就業者の定着を図る。		
具体的な施策内容	離島の新規就業者に対する漁船、漁具等のリースの取組を支援する。 ※支援期間は原則1年(最長3年)		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規漁業就業者数	目標	1	1	1	1	1	D
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

H29～R1年度まで新規漁業就業者(1名)に対して漁船・漁具等のリース支援をした。
R2年度は申請者がいなく新規漁業就業者は0名でした。申請したからといって支援するのではなく離島漁業再生支援交付金事業の促進計画(第4期)に明記している漁業専業の新規就業者を迎え入れ、漁業に従事する意欲がある新規就業者を支援していきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	徳田
----	-------	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○大島紬技能者養成所による織工育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町大島紬技能者養成所等維持管理運営委託料		
施策の目的	大島紬産業の振興及び大島紬産業の活性化を目的とし、養成所等の管理及び織工育成を図る。		
具体的な施策内容	委託料 3,778,000円(一年間)		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
12	10	委託料				3,778		(一般財源)						3,778			
計						3,778	計						3,778				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
製織反数	目標	4	5	6	7	8	A
	実績	4					
	目標						
	実績						

【評価】

●令和2年度新規入所生2名、3年目1名が指導員の下、製織技術向上に努め日々技術を磨いている。町の広報紙による織工募集、YouTubeによる紬組合の紹介、R2.5月より紬組合によるInstagram「機之音ブログ」を開設、紬組合の活動状況や製作小物等を紹介し活性化と紬の伝統継承の機会作りを図った。
製織実績 令和2年度 4反 220千円 (7マルキ4反 綾緋)

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
基本目標	1	項目	1-1-1		
事業概要	○奄美群島における地域通訳案内士の育成事業				

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(地域通訳案内士事業)																
施策の目的	観光人材のインバウンド対応能力(接客能力、業務改善能力など)を高め、観光サービスの質を向上させることにより、訪日外国人旅行者等の地域への誘客・長期滞在や消費拡大へ繋げる。																
具体的な施策内容	①奄美群島広域事務組合主催の研修を実施。(通訳案内士、語学、ホスピタリティ、地元学、旅程管理、実地研修、救命研修) ②研修修了試験の実施 ③地域通訳案内士の登録 ④地域通訳案内士登録後も定期的なスキルアップ研修を実施																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
18		負担金			5,598				一般財源			5,598					
計								計									
5,598								5,598									

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績						
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。</p> <p>平成28年に事業が開始されて以降、群島全体で129名(英語101名、中国語28名)の方が地域通訳案内士の研修を終了している。その内瀬戸内町在住者からは6名(英語5名、中国語1名)の方が研修を終了している。</p> <p>当事業は、今後の世界自然遺産登録後に見込まれる訪日外国人旅行者等の需要増加に対し、観光人材の対応能力向上の役割を担っており、誘客や長期滞在促進及び消費拡大へと繋げる為にも無くてはならない事業である。現在のコロナ過の時期を活用し、現在の地域通訳案内士へのスキルアップ研修を実施するなど、広域事務組合と協力していく。</p>							
<p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。 数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○奄美群島における認定エコツアーガイドの育成事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業		
施策の目的	奄美群島の貴重な自然環境や歴史・文化の魅力を伝えるエコツアーガイドの育成・確保など、奄美群島の国立公園指定や世界自然遺産登録による観光客増に対応し、将来にわたって素晴らしい自然環境を残していくための活用方法についての取り組みを進めることを目的とする。		
具体的な施策内容	①エコツーリズム推進協議会 ②エコツアーガイド初期段階育成事業 ③奄美群島エコツアーガイド認定制度の運用		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
エコツアーガイド認定者数	目標	5	10	12	14	15	A
	実績	5					
	目標						
	実績						

【評価】

世界自然遺産登録を見据え、エコツアーガイドは順調に育っているが、継続してガイド活動を続けていく必要がある。また、観光客に対し、ガイドの周知を図るなど、利用を促進していくことで、観光客の満足度向上だけでなく、ガイドの社会的地位の向上や就業機会の拡大につなげていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○各種助成(検定試験・スポーツ文化活動・通学・修学旅行)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校各種補助金		
施策の目的	本町の最高学府である古仁屋高校の生徒を対象に,各種補助金等とおして,保護者の負担軽減や生徒の学力向上を目指すことで活性化,存続につなげることを目的とする。		
具体的な施策内容	各種検定試験料半額補助・部活動活動補助・遠距離通学費補助・修学旅行費補助。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	2	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名					
18	45	スポーツ・文化活動				500		(一般財源)				2,468	
	47	修学旅行費助成				620							
	48	生徒通学費				658							
	90	各種検定試験等受験助成				690							
計						2,468	計						2,468

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
古仁屋高校への支援	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%					
	目標						
	実績						

【評価】
古仁屋高校に対しての各種補助金は,生徒数の減少に伴い,年々補助金も少なくなっているが,継続して古仁屋高校の存続や活性化につなげたい。
※KPIは活用率。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○古仁屋高校のPRや高校生の学校活動に対し地域として応援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	古仁屋高校生徒が、学校生活以外でも活躍し、地域住民と交流することによって、地域住民に古仁屋高校の必要性を再確認していただき、町内小中学生及び町外に対してもアピールし、生徒数の増加及び維持を図る目的である。		
具体的な施策内容	年1回、ポスター作成を行い、古仁屋高校が各小中学校や関係機関へPRとして配布。また、地域活動を積極的に参加していただくことで、町の最高学府として地域貢献活動をしていただくことで振興対策をはかっている。また、学校生活以外での活躍に対し、一部補助等を支出していく。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金				172		一般財源				172					
計						172	計						172				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域応援団補助 ※執行率	目標	50%	55%	60%	60%	60%	C
	実績	38%					
	目標						
	実績						

【評価】

●PR用のポスターについては、例年通り作成できたが、その他の活動がコロナ禍により実施が困難となり、縮小した形で奉仕活動を1回実施しただけとなった。

●応援団補助は、生徒が学校生活以外で活躍し、地域住民との交流することにより、地域住民に古仁屋高校の存在の必要性を再認識させ、また町内の小中学生や町外に対してPRすることが目的の1つでもある。町と高校で制度の在り方について再度確認し、学校生活以外で活躍している生徒に対し、補助をしていけるよう努力しなければならないと考える。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○プログラミングを授業の一環として総合の授業へ取入を推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	日本において、各学校でプログラミング事業を必須化しようとしている。その先駆けとして、県内でも普通科としていち早く取り組むことで、日本だけでなく世界で活躍できる人材を瀬戸内町から育成していき、古仁屋高校の活性化及び生徒の確保、そして町の活性化につなげていく目的である。		
具体的な施策内容	古仁屋高校のカリキュラムとして「総合的な探求の時間」があり、1年生をターゲットに3学期に計6～8時間程度、導入から基礎知識を外部講師(奄美情報処理専門学校の講師)を招聘し指導していただく		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	8	講師謝金				60		一般財源				60					
計						60	計						60				

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プログラミング教室満足度 ※アンケートをR3年度より実施予定	目標	50%	50%	50%	50%	50%	B
	実績	/	/	/	/	/	
	目標						
	実績	/	/	/	/	/	
	目標						
	実績	/	/	/	/	/	

【評価】

・これまで、高校外の施設にてプログラミング教室を実施していたが、今年度より高校の授業(総合的な探求の時間)を活用した取り組みに実施。来年度も同ような取り組みを実施する予定であるが、1人でも多くの生徒が満足な授業になるように、講師と協議していくこととする。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地	担当者名	勝田 忠広
----	-----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○地域の職場を体験学習することで将来の地元就職に寄与		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	インターンシップ事業		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 働くことや創造することの喜びを体得する。 自主性・積極性・責任感・言葉遣いやマナーなどを身につける。 職場の人々との協力・協調の大切さを体得する。 望ましい勤労感・職場観を養い、自己の特性と将来への進路意識を高める。 		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> 事務に関する業務(文書作成、記帳、伝票整理、情報機器等の操作等) 販売営業に関する業務(応対、包装、商品の受け渡し、商品知識、商品管理(収納・整理・整頓)、レジ打ち、店内清掃等) 福祉・保育に関する業務(介護実習、保育実習、園内清掃等) 製造に関する業務(商品製造・管理、器具の取り扱い、清掃等) 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
インターンシップ満足度 ※アンケートをR3年度より実施予定	目標	未実施	80%	80%	80%	80%	C
	実績						
	目標	未実施					
	実績						

【評価】

・2学年部が地域の事業者等と段取りを進め、生徒の希望に応じた職場での実習を行うことにしていたがコロナ禍で中止を余儀なくされた。来年度は新たな事業所を実習先として開拓し、実習先として加えるなど、観光産業も含めた地域の活性化に取り組む団体等にも働きかけを強め、地域に密着した体験学習や体験実習等に発展させていく考えである。3年度以降はより多種多様な事業所で体験できよう計画を立てたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	田原 浩治
----	----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業経営を目指す人材の育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町営農支援センター研修制度		
施策の目的	農業の基礎知識・技術に関する実地研修を行い地域農業の振興に貢献しうる人材の育成		
具体的な施策内容	①農業基礎講座 ②研修施設等を活用した実践研修 ③その他就農に向けた各種研修会への参加等		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	5	事業	1	(単位:千円)	款		項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳					
節	細節	費目名				金額	細節	費目名						
1		会計年度任用職員報酬				1,525		(一般財源)				6,087		
3		期末手当(会計年度任用職員)				82								
4		社会保険料等				255								
8		旅費等				110								
10		消耗品等				3,252								
11		手数料				61								
12		委託料				437								
13		車両船舶借上料等				111								
15		園芸用材料費				254								
計						6,087	計						6,087	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規就農者数	目標	4	4	4	4	4	A
	実績	5					

【評価】

令和2年度はコロナ禍で研修の受け入れを控えたため令和3年度新規に就農する方はいなかったものの、今年度は2名を研修生として受け入れた。コロナ禍で農業に従事したいと希望している人が全国的に急増しており、研修生の受け入れを柔軟に対応し、新規就農者の発掘・育成に努める。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	泰村 義一
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業次世代人材投資事業で就農直後の経営を安定化		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業次世代人材投資事業		
施策の目的	次世代を担う農業者となることを意向する者に対し、農業次世代人材投資資金を交付することで就農直後の経営の安定と就農意欲の喚起を図る。		
具体的な施策内容	●経営開始型給付実績 令和2年度 対象者 5名×1,500千円=7,500千円		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10		需用費				330	17	農業次世代人材投資事業補助金				7,830					
18		負担金, 補助及び交付金				7,500											
計						7,830	計						7,830				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規就農者数	目標	4	4	4	4	4	B
	実績	2	/	/	/	/	
認定新規就農者数	目標	3	3	3	3	3	C
	実績	1	/	/	/	/	

【評価】

●経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する経営開始型給付金を給付することで、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着促進が図られた。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	能島延光
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○地域ぐるみでの農地環境の保全(多面的機能活動推進事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	多面的機能支払事業		
施策の目的	水路、農道、ため池および法面等、農業を支える共用の設備を維持管理するための地域の共同作業に支払われる交付金である。		
具体的な施策内容	補助率は国50%、県25%、町25% 農業者および地域住民等は、グループ(活動組織)をつくり、活動計画書を提出する。 グループはそれをもとに市町村と協定を結び、共同作業を行った。 市町村は、活動の実施状況の確認等を行った。		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	13	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	2	多面的活動推進事業				3,942	9	多面的機能支払い交付金(本体)				2,956					
								(一般財源)				986					
計						3,942	計						3,942				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
活動組織数	目標	9	9	9	10	10	C
	実績	9					
活動面積(ha)	目標	126	126	126	140	140	B
	実績	126.1					

【評価】

平成19年度から行っている事業であるが、リーダー及び事務を行う人材が確保できないために、活動組織の増加がない状態になっている。
平成29年度には10組織143.3haになったが、人材不足によりR2は9組織となった。
休止中の組織や意欲のある集落等に地元説明会などを行い、活動組織の増加につなげたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	武富 光希
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農地の集約を図り農地の貸借を実施(農地中間管理事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農地中間管理事業		
施策の目的	農地中間管理事業を通じて、農地の貸借をおこない、農地の集積・集約化、農業経営の規模拡大、新規参入等による農用地等の効率的利用を促進し、農業の生産性の向上を図る。		
具体的な施策内容	(1)農地の貸し借りに関する相談等窓口 (2)農用地等の借受・貸付等の推進 (3)農用地利用配分計画案の作成 (4)農用地等の利用状況の把握、契約等の解除、農用地等の一時貸付		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	6	(単位:千円)	款	20	項	4	目	2	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1		報酬				1,158	1	農地中間管理事業委託金				1,800					
3		職員手当				74											
4		共済費				240											
8		旅費				42		(一般財源)				49					
10		需用費				316											
11		役務費				19											
計						1,849	計						1,849				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農地転貸面積	目標	4ha	4.2ha	4.4ha	4.6ha	4.8ha	A
	実績	4.3ha					
	目標						
	実績						

【評価】

- 農地借受面積 4.3ha(阿木名6,217㎡,嘉鉄3,247㎡,蘇刈797㎡,網野子8,263㎡,節子2,854㎡,久根津3,010㎡,久慈4,083㎡,請阿室15,115㎡)
- 農地転貸面積 4.3ha, 54筆
- 高齢化や様々な理由によって農地の維持管理が出来なくなり、利用されない農地が存在している。そのような農地を必要としている方や有効利用してくれる方に向けての情報提供や農家の方々への聞き取り等によって、農地中間管理事業を通して活用してもらう。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などを解消		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業・農村対策事業(荒廃農地開拓事業)		
施策の目的	荒廃農地を作物生産可能な農地へ復旧するため、町が再生作業(重機による伐根、整地、耕耘)を行う。		
具体的な施策内容	荒廃農地を作物生産可能な農地へ復旧するため、町が再生作業(重機による伐根、整地、耕耘)を行う。(農業者は3万円/10aを負担する)		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	6	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1		報酬				4,137		(一般財源)				7,685					
3		職員手当等				224											
4		共済費				682											
8		旅費				40											
10		需用費				2,411											
11		役務費				13											
13		使用料及び賃借料				178											
計						7,685	計						7,685				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
荒廃農地の解消面積(a)	目標	400	300	300	300	300	C
	実績	251					
	目標						
	実績						

【評価】

荒廃農地の解消作業については、農家個人が行う場合多大な労力と経費が必要とされることから、今後においても町単独事業として継続していきたい。
また引き続き、災害時における対応処理や各課からの緊急的な依頼等に協力していきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	能島延光
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○中山間地域の立地条件等に沿った農業生産基盤等の各種整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	(奄振)県営中山間地域総合整備事業		
施策の目的	農山漁村地域において、農業農村施設の整備に係る県営事業の負担金。		
具体的な施策内容	中山間地域総合整備事業により、県営事業において農業用排水施設、農道、ほ場整備、農業集落道路、農業配水管施設等を整備する。		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節		細節		費目名			金額		細節		費目名						
18		1		負担金			13,493				一般財源						13,493
計							13,493		計							13,493	

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内東部地区 ※進捗率	目標	26	32	42	52	64	B
	実績	26	/	/	/	/	
加計呂麻(通作保全・計画策定) ※進捗率	目標	47	100	-	-	-	B
	実績	47	/	/	/	/	
加計呂麻(通作保全・対策) ※進捗率	目標	-	-	-	17	44	D
	実績	-	/	/	/	/	

【評価】

瀬戸内東部地区は、嘉鉄1号集落排水路と阿木名1号集落排水の完成を目指し、また、R4以降の施工のための測量設計業務委託等を令和3年度に行います。
加計呂麻(通作保全)は計画策定を行い、令和5年度からの事業実施を目標とします。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○たんかん等の苗木購入を助成し、農家の所得向上を促進		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	果樹産地育成支援事業																
施策の目的	有望な熱帯果樹品種(たんかん, 津之輝, アボカド)の苗木購入費の一部助成を行うことで、農家の生産意欲の向上とコスト削減を図り、果樹産地の拡大を図る。																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●果樹苗木の購入費の1/2助成 ・たんかん苗木 2,424本(助成額1,131,900円) ・津之輝苗木 547本(助成額267,600円) ・アボカド苗木 95本(助成額285,000円) 																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	14	事業	5	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額	細節	費目名										
18		補助金			1,772		(一般財源)										1,772
計					1,772	計											1,772

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
たんかんの新規植栽面積(a)	目標	333	400	400	400	400	A
	実績	538					
津之輝の新規植栽面積(a)	目標	60	60	60	60	60	A
	実績	87					
アボカドの新規植栽面積(a)	目標	50	50	50	50	50	C
	実績	23					
【評価】							
果樹類(たんかん, 津之輝)の苗木購入費を助成することで、果樹生産者の規模拡大や新規参入者の確保等に繋がり、栽培面積の向上と産地化への推進が図られている。今後も継続または拡充を行い農家所得の向上に繋げていきたい。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○営農用ハウス整備及び営農技術研修(農業創出緊急支援事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業創出緊急支援事業(推進事業・条件整備事業)		
施策の目的	収益性の高い園芸品目を中心とした農業の振興を図るため、災害に強い施設等の整備や付加価値の高い農業生産の推進を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●推進事業(農業の生産基盤を強化するための取組、付加価値の高い農業生産の推進、他) ●条件整備事業(共同利用施設整備、共同利用機械の整備) 		

【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	14	事業	5	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4・30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
7		報償費				64		4	推進事業補助金				1,898				
8		旅費				259			整備事業補助金				54,816				
10		需用費				888											
11		役務費				21											
12		委託料				285											
13		使用料及び賃借料				253											
15		原材料費				1,079											
18		補助金				61,489											
									(一般財源)				7,624				
計						64,338		計						64,338			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
園芸品目の産出額の増加(千円)	目標	220,000	220,000	240,000	250,000	270,000	A
	実績	225,900					
園芸品目栽培面積の増加(ha)	目標	200	205	207	210	213	A
	実績	209					
営農用ハウスの整備(a)	目標	33	20	20	20	20	A
	実績	33					
【評価】							
<p>新規就農者などの農業担い手の確保や育成、園芸品目の栽培技術等の向上が図られており、園芸施設の整備や機械導入などのハード面と併せて一体的な農業施策が展開されてきている。</p> <p>しかし、近年の気象変動等の影響による生産面の課題や消費者ニーズの多様化による販売戦略の見直し、コロナ禍の影響など今後の農業振興に係る不安要素は多々あるのが現状である。</p> <p>このことから、これらの課題等に対応した新たな施策を立案し事業化に取り組み、農家所得の向上に繋げていきたい。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	泰村 義一
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業農村活性化推進施設等整備事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業		
施策の目的	本町の食、農業及び農村の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、農業生産基盤の安定化、生産施設の整備、農産物の付加価値化の向上などを一体的に支援する。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●きび酢貯蔵庫 1棟 49.6㎡ ●きび酢発酵調整(FRP)タンク 1基/1t×10基 事業実施主体:野見山さとうきび生産組合(加計呂麻島野見山地区)		

【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	14	事業	6	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金				8,294	5	補助金				5,455					
								(一般財源)				2,839					
計						8,294	計						8,294				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
さとうきび生産面積の拡大(ha)	目標	14	16	18	18	20	A
	実績	14					
園芸品目生産面積の拡大(ha)	目標	200	205	207	210	213	A
	実績	209					
農産加工室利用者数の増加(人)	目標	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	A
	実績	2,000					
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ●原酢発酵調整施設を新設することによって、原酢の安定的確保やきび酢の生産量・販売量の増加が見込まれる。また、このことによって、小型製糖工場の経営所得の向上に繋がり、地域経済の活性化が期待される。 							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	武富 光希
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	農林水産物輸送コスト支援事業																
施策の目的	奄美群島においては、農林水産物を島外へ出荷する際に陸輸送に加えて海上輸送費が必要になり、本土より高い輸送コストを負担している。このことから、輸送コスト支援事業により流通体制の不利性を軽減することで、生産基盤の強化に取り組み農林水産業の経営強化を図る。																
具体的な施策内容	①農林水産物の輸送コスト支援 農産物(野菜, 果樹, 花き) 412千円 ②原材料等の輸送コスト支援 たんかん段ボール 16千円 ③市町村事務費 2,926千円																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	3	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
1		報酬				2,527	22	農林水産物等輸送コスト支援事業補助金(農産物)				2,806					
3		職員手当等				134											
4		共済費				245											
8		旅費				20		(一般財源)				532					
18		農林水産物輸送コスト補助金(農産物)				412											
計						3,338	計						3,338				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
輸送量(野菜)	目標	25,000kg	25,100kg	25,200kg	25,300kg	25,400kg	B
	実績	24,010kg					
輸送量(果樹)	目標	4,000kg	4,100kg	4,200kg	4,300kg	4,400kg	C
	実績	1,201kg					
輸送量(花き)	目標	140梱包	145梱包	150梱包	155梱包	160梱包	A
	実績	146梱包					
【評価】							
●本土に比べ離島である奄美群島では出荷するための輸送料が係ってしまう。輸送コスト支援事業を活用する事により、本土で農業を行い出荷している人と対等な条件で出荷を行える事により、生産性や輸送量の向上を図る。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	泰村 義一
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林水産物直売所を活用した地産地消の推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農林水産物直売所運営事業		
施策の目的	出荷会員に対する生産面及び技術面での支援を強化し、安心・安全な地場産農産物及び加工品の販売額の向上を図り、地元住民や観光客へのサービス向上に努め、加計呂麻島の交流人口の拡大による地域活性化を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●加計呂麻島いっちゃんむん業務市場委託料 9,178千円 ●非常用発電機置場整備委託料 150千円 		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	16	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名		金額		細節	費目名										
10		需用費		1,120		145	農林水産物直売所販売手数料										3,604
11		役務費		156		158	農林水産物直売所販売代金										1,025
12		委託料		9,781													
13		使用料及び賃借料		8			一般財源										7,112
15		原材料費		676													
計				11,741		計				11,741							

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
売上額	目標	21,486千円	26,000千円	30,000千円	34,000千円	37,000千円	A
	実績	21,486千円					
来店者数	目標	23千人	28千円	33千円	38千円	40千人	A
	実績	23千人					

【評価】

出荷者の掘り起こしや商品づくりを支援し、多様かつ消費者ニーズに沿った販売体制を構築する必要がある。特に農産物については、定期的な栽培講習会等を実施し、生産者の育成・技術向上による生産力の増大を図ることで、直売所の販売額アップと生産者所得の向上に繋げていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○パッションなど瀬戸内町産ブランドの確立		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業創出緊急支援事業(条件整備事業)		
施策の目的	本町では施設パッションフルーツを重点振興品目として位置づけており、農業研修生及び新規就農者の経営品目の柱となっている。また、施設化によって品質の向上と安定生産が可能となり、収益性の高い農業の展開が図られてきている。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●営農用ハウス, (KPHN型 2連×7棟 3,360㎡), 付帯施設(果樹棚, 灌水施設) ●事業実施主体:第2本島地区パッション生産組合(4戸) ●実施地区:嘉鉄, 節子, 阿鉄 		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	7	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18		補助金			61,489		1	農業創出緊急支援事業補助金			54,816						
								一般財源			6,673						
計					61,489		計					61,489					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
営農用ハウスの整備 (パッションフルーツ)	目標	33a	14a	10a	10a	10a	A
	実績	33a					
営農用ハウスの整備 (マンゴー)	目標	0	25a	0	20a	10a	D
	実績	0					

【評価】

パッションフルーツの営農用ハウスを新設・増設することにより、栽培面積及び生産量の増大が図られ、ブランド産地として強固な生産体制の維持が可能となる。また、推進事業による食の安心安全への取組やPR・販路拡大等も併せて展開し、ブランド産地の維持・発展を支援していきたい。
今後においてもパッションフルーツを主軸とし、他の品目についても積極的に事業導入を行いブランド化の推進とともに農家所得の向上へ向け支援していきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	田原 浩治
----	----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-2
事業概要	○繁殖雌牛を導入した農家に対し交配時期までの育成費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	肉用牛増頭推進対策事業		
施策の目的	本町の繁殖雌牛の頭数を確保すると共に畜産経営の安定を図る。		
具体的な施策内容	繁殖雌牛の資格を有すると認められた子牛を導入した生産者に対し交配時期までの育成費用として1頭につき35,000円を交付する。		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	8	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18	2	肉用牛増頭推進対				2,240		(一般財源)				2,240					
計						2,240	計						2,240				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
子牛導入頭数	目標	40	40	40	40	40	A
	実績	64					
	目標						
	実績						

【評価】

H27年度に要領を制定し、これまでに250頭の導入対して事業費15,260円を要した。飼養頭数がH27年は457頭、現在438頭で減少傾向にある。しかしながら高齢牛の割合は事業実施前の42.2%から33.4%と母牛の入れ替えが進み、一定の効果が現れている。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	田原 浩治
----	----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-2
事業概要	○飼料基盤の開発整備や農業用施設等の整備を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	畜産基盤再編総合整備事業		
施策の目的	飼料基盤の開発整備や農業用施設の整備等を行い、肉用牛生産の核となる経営体を育成する。		
具体的な施策内容	①草地の造成改良及び整備 ②畜舎、家畜排せつ物処理施設等整備		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
施設等整備数	目標	0	1	1	1	0	D
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

畜舎2棟、家畜排せつ物処理施設1棟を国庫補助事業にて承認済みであるが、事業実施予定年度が令和3年度となっており2年度に関しては実績が無い。令和3年度に予定どおり工事が着手できるよう国、県との調整に努める。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	能島延光
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○森林に適切な保育・除伐施業を実施(水源林造成事業)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	水源林造成事業費		
施策の目的	健全で優良な森林資源の造成と水源かん養機能増進のため、対象森林に適切な保育(伐採)施業を実施する。		
具体的な施策内容	○受託費:100%(国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 鹿児島水源林整備事務所) ○除伐(スギその他広葉樹)を3.3ha行った。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	3	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	4	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12		除伐事業委託料				1,071	1	水源林造成受託業務委託				1,071					
計						1,071	計						1,071				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
除伐面積(ha)	目標	3.31	5.94	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	B
	実績	3.31	/	/	/	/	
	目標						
	実績		/	/	/	/	

【評価】

適切な保育施業を実施することにより、健全で優良な森林資源の造成と水源かん養機能増進を図る。
令和2年度は阿木名地内3.3haを計画どおりに行った。
瀬戸内町森林組合と協議を行いR4以降の計画をしたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	能島延光
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○木材利用・普及啓発(森林環境譲与税)		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	森林環境譲与税事業		
施策の目的	町が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進の支援等行う。		
具体的な施策内容	地方交付税100% 木材利用の促進や普及啓発活動により、森林整備や林業の活性化が図られた。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	8	事業	1	款	2	項	4	目	1	節	1	(単位:千円)
(単位:千円)								(単位:千円)								
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額				
12	181	看板製作業務委託				992	1	森林環境譲与税				4,072				
15	14	案内板材料費				1,298	1	森林環境譲与税基金繰入金				835				
15	29	保安林整備材料費				93										
17	64	ドローン購入費				1,478										
24	18	森林環境譲与税基金積立				1,046										
計						4,907	計						4,907			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
案内看板	目標	13	8	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	B
	実績	13					
	目標						
	実績						

【評価】

瀬戸内町では、地元小学校と連携して、木材利用を通じた地域住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでおり、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく。
古仁屋小学校と連携した木工体験学習及び既存木製看板(いっちゃんむん市場)の修繕を行い、木材利用の拡大を図ることが出来た。
令和4年度は阿木名及び嘉鉄の学校と連携していきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	能島延光
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○里山林総合対策事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	里山林総合対策事業		
施策の目的	希少野生生物保護の観点から、奄美地域では松くい虫被害予防のため薬剤散布が実施できないことから、奄美地域に限り、道路沿線や集落背後地等における重要なマツへの薬剤の樹幹注入を図る。		
具体的な施策内容	補助金は県70%、町30% 道路沿線や人家背後等の優先箇所での薬剤の樹幹注入を実施することにより、住民の生活の安全の確保が出来た。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	6	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	2	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	254	薬剤樹幹注入委託料				2,150	8	里山林総合対策事業補助金				1,480					
								(一般財源)				670					
計						2,150	計						2,150				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
薬剤樹幹注入(本)	目標	67	77	103	92	128	B
	実績	67					
	目標						
	実績						

【評価】

樹幹注入を集落及び学校施設等行っており、令和4年から令和7年度を繰返しの樹幹注入を行ってマツへの被害を防いでいく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○水産物を沖縄本島まで出荷する際の輸送費を支援		

事業名	水産物流通支援事業
施策の目的	水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助することにより、販路拡大等を行う。
具体的な施策内容	奄美群島と沖縄県は、地理的、歴史的、文化的につながりが深く、住民生活の関わりも深い地域である。また、奄美群島から沖縄本島へは、多くの水産物が出荷されており、沖縄本島は、鹿児島県本土と同様に一大消費地となっているので、奄美群島の水産業にとって重要な消費地である沖縄本島への販路拡大等を促進する必要があるため、沖縄本島までの輸送費の一部を補助し、負担を軽減することによる販路拡大等の効果をあげる。

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	4	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	負担金、補助及び交付金				5,199	7	国庫支出金				2,607					
10	2	需用費				17	7	県支出金				521					
								一般財源				2,088					
計						5,216	計						5,216				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	695,000kg	615,000kg	615,000kg	615,000kg	615,000kg	C
	実績	615,000kg					
	目標						
	実績						

【評価】※重要(“D”)を踏まえ、次年度(R3)以降の事業実施にどう活かすか? など)

新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落込み、昨年度より出荷量が減少したが新型コロナウイルス感染症の終息することで出荷量が増加すると予想される。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○漁協が養殖業者からマグロを購入する費用を助成		

事業名	マグロ消費促進事業
施策の目的	新たな観光客の入れ込み数増や流れをつくるきっかけとして、国内有数のクロマグロ養殖産地である本町の養殖クロマグロを地元飲食店や鮮魚店で気軽に食したり購入できたりする環境づくりを整える
具体的な施策内容	養殖業者から通常の価格より1,000円安い価格で瀬戸内漁業協同組合がクロマグロを購入し、町内業者(仲卸業者・飲食店)は漁協より購入する。1,000円安く購入する分に対し、町が負担、補助金として漁協に支出することにより町内の飲食店ででのクロマグロ消費拡大を行い養殖クロマグロ国内有数の町としての地域振興に繋げる。

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節		細節	費目名			金額			細節	費目名							
18		2	負担金、補助及び交付金			1,534			一般財源					1,534			
計								1,534	計								1,534

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
まぐろ入荷重量	目標	1,360kg	1,400kg	1,450kg	1,500kg	1,550kg	B
	実績	1,409kg					
	目標						
	実績						

【評価】

●町内4業者の飲食店が16本のクロマグロを購入し、総重量は1408.8kgで平均重量88kgでクロマグロ丼やクロマグロネギトロ丼、刺身定食等で町民及び観光客へ販売した。今後は町内飲食店の取り扱い店舗を増やしていきマグロの消費拡大に繋げていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禮久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○水産物の出荷における一時保管施設整備(冷凍冷蔵施設整備)		

事業名	浜の活力再生施設整備事業
施策の目的	瀬戸内漁業協同組合では、近海ではカツオマグロ等の漁船漁業、湾内では静穏な漁場を生かした魚類養殖が盛んに行われている。近年マグロ旗流し漁業への参入者が増えたこと等により、餌となる冷凍イワシ・サンマ等の需要が増えているものの、既存の冷凍庫はスペースが狭小で好漁や好天であっても餌が確保できないため出漁ができない状況にある。このようなことから、瀬戸内漁業協同組合が冷凍冷蔵庫を整備することにより、漁業者の使用する餌の安定的な供給をすることで、漁業者所得向上を図る。
具体的な施策内容	新しい冷凍冷蔵施設整備を行い、十分な冷凍・冷蔵スペースを確保することにより、マグロ旗流し漁業等へ餌の安定供給を行うことで、群島内外の漁業者の出漁・出荷基地港としての機能強化を図る。このことにより、出漁回数が増加し漁業者の所得向上や、島外漁業者の生産コストの削減につなげられる。その他、未利用資源の雑魚を冷凍餌や加工品原料として活用・保管が可能となる他、島内出荷用冷蔵スペースの確保による業務の効率化により、経費の削減と漁協の経営体質強化が図られる。なお、既存施設については、組合員の冷凍保管庫、セリ前後の漁獲物の冷凍庫として有効活用する。

【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	5	(単位:千円)	款	14	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	2	細節	費目名			金額		節	3	細節	費目名			金額			
18	2		負担金、補助及び交付金			14,577		3		国庫支出金			11,018				
			需用費			70				一般財源			3,629				
計						14,647		計						14,647			

重要業績評価指標(KPI) R2~R6								
KPI(指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
冷凍・冷蔵利用量	目標		/	6t	7t	8t	9t	
	実績		/	/	/	/	/	
	目標							
	実績		/	/	/	/	/	
【評価】								
R3の運用開始に向け、整備強化を図ることができた。								

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○種苗放流や漁場の管理・改善を実施(離島漁業再生支援)		

事業名	離島漁業再生支援交付金事業																
施策の目的	構成員が行っている従来の漁業に加え、種苗放流、漁場の維持管理等、漁場の生産力の向上に関する取り組みを行い、新たに魚価の安定化を図るため、地場産の加工品の商品化に向けた研究をはじめ、漁食普及活動等の実施及び販路拡大を行うことにより、漁業所得の向上による漁業集落の活性化を目的とした。																
具体的な施策内容	《集落が行った取り組み》 ・漁場の生産力向上と利用に関する話し合いを年5回開催 ・種苗放流…クエ(大島海峡内5海域に900尾) ・サンゴ保全…オニヒトデ・シロレイシガイダマシを駆除 ・サメ駆除…漁業被害の原因となっているサメを買い取り方式により駆除(281匹) ・産卵場・育成上の整備…イカ産卵場(イカ柴)を400基整備し、追跡調査実施 ・密漁監視…町内の海岸全域に禁漁魚の看板40枚を設置し、密漁禁止の啓発を行った。 ・流通体制の改善…活魚槽を利用し、出荷調整を行った。(エビ類及び貝類) ・加工品開発…安価な水産物を使用した加工品開発を行った。(マグロ胃袋、シビ、ソデイカ等)																
【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
18	3	負担金、補助及び交付金				8,076	3	国庫支出金				5,603					
							3	県支出金				1,236					
								一般財源				1,237					
計						8,076	計						8,076				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
漁業就業者数	目標	65	65	65	65	65	B
	実績	65					
	目標						
	実績						
【評価】							
漁業の再生を図り、本町の漁業を活性化することで漁業就業者数を維持することができた。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○漁船漁業者の操業を支援(漁船漁業燃油緊急対策事業)		

事業名	瀬戸内町漁船漁業燃油緊急対策事業
施策の目的	漁船漁業者の窮状に鑑み、町の水産業振興施策と連携しながら、漁船漁業者の操業意欲を確保することにより、漁家経営の安定と水産物の安定供給を維持・確保する。その経費の10%を補助する。
具体的な施策内容	瀬戸内漁業協同組合が、庁内に住所を有する組合員であり水揚げ高年間50万円以上の漁船漁業者が使用する漁業用燃油の購入費を助成する場合に要する経費等について、その経費に対し予算の範囲内において補助金を交付する。(漁業用燃油,1リットル当たりの購入費の10%)

【経費内訳】															
款	6	項	3	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目	節	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳							
節	細節	費目名				金額	細節	費目名							
18	2	負担金、補助及び交付金				2,136		一般財源				2,136			
計						2,136	計						2,136		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
漁業用燃油量	目標	325,000L	28,000L	28,500L	29,000L	29,500L	C
	実績	254,883L					
	目標						
	実績						
【評価】							
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落ち込み漁に出る船が減少したため、燃油量が昨年度より減少した。今後、新型コロナウイルス感染症が終息して行くと水産物の需要が増え出漁する漁船が増加すると同時に燃油の消費量も増加して行く。							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○水産物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

事業名	農林水産物輸送コスト支援事業
施策の目的	水産物を奄美群島島外へ移出する場合や移出する農林水産物の原材料等を移入する場合、本土における陸上輸送費に加えて海上輸送費等が必要となり、本土より高い輸送コストを負担している。このため、奄美群島算水産物の生産・出荷に係る輸送コストを補助することにより、流通条件の不利性を改善し、生産振興や産業振興を促進する。
具体的な施策内容	奄美群島で生産された水産物の出荷に要する鹿児島港又は鹿児島空港までの海上・航空輸送経費相当額を補助する。

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			節	細節	費目名			金額				
18	2	負担金、補助及び交付金			29,102			22		国庫支出金			20,372				
								22		県支出金			4,365				
										一般財源			4,365				
計					29,102			計					29,102				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	2,900t	2,400	2,400	2,400	2,400	B
	実績	2,950t					
	目標						
	実績						

【評価】

本年度の評価が良かったので次年度以降を継続していく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-5
事業概要	○新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町振興開発事業		
施策の目的	瀬戸内町長期振興計画に基づき、新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備を推進していく。		
具体的な施策内容	新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備の事業計画書の提出を受け、瀬戸内町振興開発審議会にて、調査・審議を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2 (H29年度分)	R3 (H30年度分)	R4 (R1年度分)	R5 (R2年度分)	R6 (R3年度分)	自己評価
1人あたりの町民所得(千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,277					
県民所得との対比(%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90.0	A
	実績	90.6					
	目標						
	実績						

【評価】

令和2年度においては、当事業に係る案件はなかった。今後、町内で新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備が行われようとする際には、環境や法律の専門家及び開発を進めようとする地域の周辺集落などの意見を集約し、適切な開発に努めていく。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-5
事業概要	○大学等との包括連携をととした商品開発及び人材育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	包括連携協定に基づく新商品開発事業(キビ酢を活用したサプリメント開発)		
施策の目的	本町の重要な特産品である「キビ酢」を最大限に活かした新商品を開発し、さとうきびやキビ酢生産者の生産意欲の向上と生産量の確保・拡大を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学においてサウキビを使ったキビ酢のサプリメント開発の打ち合わせを行う(R2.11.18) ・成分分析や販路開拓に向けた、より具体的な打ち合わせを「ア・ファーマ近大」と行う(R2.12.9) 		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名			金額				細節	費目名							
8	003	普通旅費			121				(一般財源)				121				
計								121	計								121

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2 (H29年度分)	R3 (H30年度分)	R4 (R1年度分)	R5 (R2年度分)	R6 (R3年度分)	自己評価
1人あたりの町民所得(千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,277					
県民所得との対比(%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90.0	A
	実績	90.6					

【評価】

- ・本事業を行っていくため補助事業等がないか検討する。(地方創生交付金、奄振など)
- ・健康に良いとか長寿の源とか、地元の言い伝えなどを集める。
- ・ソフトカプセルになった際の販路を検討する。
- ・試作品をどの程度作ってもらうか検討する。
- ・キビ酢以外に取り込む成分を検討する。(黒糖・タンカン・ゴマなど)
- ・キビ酢の生産量を把握して年間どのくらいソフトカプセルを作ってもらうか検討する。
- ・試作品から本格商品販売まで外注先の選定を含め、本町として本事業をどのようにしていきたいのか流れを整理する。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	隆
----	-------	----	-------	------	---

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇しごと部会において就労を希望する人材と事業所を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	“我が事・丸ごと”支え愛事業(しごと部会)		
施策の目的	一人ひとりに応じた多様な「働く」を支援		
具体的な施策内容	1. 求人・求職情報の集約・提供 社協の無料職業紹介所 シルバー人材センターの活用促進 2. 多分野連携による多様な就労・就労訓 練機会の提供 セミナーの開催 3. 関係機関連携による就労準備を含む きめ細かな就労支援 情報共有と支援ノウハウの蓄積 研修会の開催		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
求職登録事業者の状況	目標	2社	2社	2社	2社	2社	D
	実績	0社					
求職登録者の状況	目標	2人	2人	2人	2人	2人	D
	実績	0人					
就労紹介の状況	目標	2人	2人	2人	2人	2人	D
	実績	0人					

【評価】

社協の無料職業紹介所(生活困窮者が対象)に関し、令和2年新型コロナウイルス感染症拡大により、求職登録事業者事態が無く、就労へ結びつけることができませんでした。

また、令和2年新型コロナウイルス感染症拡大により、各関係事業所との日程調整等が整わず、しごと部会については未開催であった。

今後は、コロナ禍において改めて就業体験可能な事業所の情報収集等を行い、しごと部会での情報共有及びグループワーク等に繋げていきたい。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇町内で新たに創業する起業家を支援するための助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町起業家支援補助金交付事業		
施策の目的	本町の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図ることを目的として、町内で新たに起業する者に対し、起業する際に必要な経費の一部を助成する。		
具体的な施策内容	補助対象経費(補助率は50%、補助限度額50万円) ・店舗、工場等の建設費、取得費及び改修費 ・店舗、駐車場等の賃借料(最高6か月分) ・広告宣伝費(ホームページ作成費含む。) ・起業に必要な設備費等		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	002	116_起業家支援助成				1,500	(一般財源)					1,500					
計						1,500	計						1,500				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
起業数(社)	目標	3	3	3	3	3	A
	実績	3					
	目標						
	実績						

【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は起業家支援として3件を目標としており、3件の起業及び1件の相談があった。 ・瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。 ・起業を目指す者が新たに事業を起こしやすいよう、また、既存の事業所が事業を拡大しやすいよう、瀬戸内町起業家支援補助金交付要綱の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組む。 ・押印を無くし、申請書類等の簡略化を図る。 							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	徳田
----	-------	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○安定的・持続的な企業経営を可能にするために給付金等を支給		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	商工業制度資金利子補給事業		
施策の目的	瀬戸内町商工会に加入している商工業者が、設備資金及び運転資金として借り入れた制度資金を対象に利子補給し、町内商工業の育成及び振興を図る。		
具体的な施策内容	補助対象事業者数:7事業者 補助対象金額合計:54,780千円 補助率:融資利率を上限とし、借入金額の1% 補助金額合計:546千円		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款		項		目	節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳							
節	細節	費目名				金額	細節	費目名								
18	2	補助金				546	(一般財源)					546				
計						546	計						546			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
補助対象事業者数の状況	目標	10	10	10	10	10	B
	実績	7					
	目標						
	実績						

【評価】

国・県の新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金などの利用で前年度に比べ利用者は減ったが、利用できなかった事業者にとっては、町の「利子補給制度」事業実施による金融面での手厚い支援により、町内商工業の経営安定と発展に役立たれた。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○起業・事業拡大などにチャレンジする民間事業者を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(奄美群島民間チャレンジ支援事業)		
施策の目的	奄美群島内在住の方へ起業や事業拡大の機会を提供し、奄美群島全体の振興を目的とする。		
具体的な施策内容	個人・団体・企業等が自らのアイデアや現有する資源を用いて起業や事業拡大・新商品開発等を行おうとすることに対し、事業資金の助成を行うことで、民間の新たなチャレンジを支援する。		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
18		負担金				5,598		一般財源					5,598				
計						5,598	計						5,598				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準のH28(2,911人)から年次的に上昇	目標	2,945	2,960	2,975	2,990	3,000	D
	実績						
事業所数 ※基準のH28(537事業所)から年次的に上昇	目標	544	546	547	548	550	D
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。</p> <p>R2年度において、奄美群島全体から33件の応募があり、内11件が採択された。その内瀬戸内町在住者からの応募は3件あり、内1件が採択されている。平成26年度に事業が開始されて以降、瀬戸内町からは延べ17件の応募があり、今年度分を合わせて3件の事業が採択されている。</p> <p>当事業は、起業や事業拡大の機会の提供、瀬戸内町をはじめとした奄美群島全体の振興という効果がある。今後は、今までに事業を活用した人同士のネットワーク形成やアフターフォローなど、事業のさらなる発展に向け広域事務組合と協力していく。</p> <p>※KPIについては、総合戦略記載値の令和6年度目標値へ向けて設定。年度の実績は、2年後の「経済センサス」にて公表される。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○商品開発やマーケティングなど起業家を育成する研修を実施		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(奄美群島地域起業家人材育成事業)																
施策の目的	奄美群島において新サービスや新たな雇用機会の創出のために、奄美の実情に即したマーケティング知識の習得、アカウント基盤実務の確認など、群島各島で持続的な事業活動が可能となる起業マインドの醸成や起業環境の整備等を図り、地域内起業家を育成することを目的としています。																
具体的な施策内容	奄美群島内において「起業を目指す方」、「創業後3年未満の方」等を対象に【やりたいことをカタチに変えるための手法】を学ぶ「奄美でシゴトをつくるゼミ」を開催。複数の講座メニューから希望する講座を選択する事が可能。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
18		負担金			5,598				一般財源			5,598					
計								計									
5,598								5,598									

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準のH28(2,911人)から年次的に上昇	目標	2945	2960	2975	2990	3000	D
	実績						
事業所数 ※基準のH28(537事業所)から年次的に上昇	目標	544	546	547	548	550	D
	実績						
	目標						
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。</p> <p>R2年度の実績として、本町からの参加希望者はいなかったが、奄美大島から5名、奄美群島全体では17名が参加している。当事業受講者のうち、R2年度末時点で2名が事業を開始している。</p> <p>今後も奄美群島広域事務組合と連携しながら奄美群島全体の発展を図る必要がある。</p> <p>※KPIについては、総合戦略記載値の令和6年度目標値へ向けて設定。年度の実績は、2年後の「経済センサス」にて公表される。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画	係名	企画振興係	担当者名	手嶋
----	----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○奄美群島振興開発基金による事業資金の供給		

会計区分		会計名	
事業名	奄美群島振興開発基金による事業資金の供給		
施策の目的	奄美群島における産業の振興開発を促進し、群島経済の発展に寄与するため「振興開発計画に基づく事業に伴い必要な資金を供給すること等により、一般の金融機関が行う金融を補完し、又は奨励すること」を目的としている。		
具体的な施策内容	奄美群島において事業を営む方々に必要な資金を長期かつ低利で融資している。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
	節	細節	費目名	金額		細節	費目名		
			広域経費						
			計	0			計		0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準のH28(2,911人)から年次的に上昇	目標	2945	2960	2975	2990	3000	D
	実績						
事業所数 ※基準のH28(537事業所)から年次的に上昇	目標	544	546	547	548	550	D
	実績						

【評価】

当事業は奄美群島振興開発基金が行う事業資金や運転資金の貸付事業である。
R2年度の本町内事業者への貸付実績として、水産業振興関連1件、観光関連産業振興4件、地域資源等振興1件、合計6件であり合計貸付額は42,520,000円となっている。
一般的な金融機関よりも低利な利率での貸付を行っており、施設整備等による事業拡大や経営安定改善に大きな役割を果たしている。
今後も、奄美群島振興開発基金と協力していきながら、町内企業の成長・発展に寄与していく。

※KPIについては、総合戦略記載値の令和6年度目標値へ向けて設定。年度の実績は、2年後の「経済センサス」にて公表される。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内で新設・増設する企業を企業立地促進補助金で支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	企業立地等促進助成事業		
施策の目的	企業に対し、特に必要と認められる助成措置及び便宜供与を講ずることにより、企業の育成及び誘致を促進し、もって本町の産業の振興と雇用の増大を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業に供する新たな用地を取得し又は賃貸借し、当該用地の取得又は賃貸借後2年以内に操業を開始する。 ・企業の設備投資額が2,000万円以上であること。 ・企業の設置に伴って増加する新規地元雇用者の数が、当該企業の操業開始後1年以内において3人以上であること。 ・企業の誘致について、町と直接、立地協定を締結し、当該協定に定める義務等が履行されていること。 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名			
		必要経費なし							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
起業数(社) ※企業立地等促進助成事業による	目標	1	1	1	1	1	C
	実績	0					
	目標						
	実績						

【評価】

- ・昨年度は企業立地等促進として1件を目標としていたが実績はなかった。
- ・瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。
- ・本町に企業を誘致するため、また、町内の事業所が事業を新設・拡大しやすいよう、瀬戸内町企業立地等促進条例の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組む。
- ・押印を無くし、申請書類等の簡略化を図る。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	中島
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内へ企業誘致を実現するため職場環境のスペースを提供		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業																
施策の目的	コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察旅費(200千円) ・需要費(259千円) ・役務費(100千円) ・拠点整備 基地局改修やリモート環境整備 (71,441千円)→清水地区の施設整備助成金 ・テレワークスペース、宿泊施設の空間リニューアル整備費助成 (40,000千円) ・指定管理者事業運営補助金(40,000千円) ★設計業務委託契約、指定管理者公募を実施。また施設の利用促進や地域内経済の好循環創出へ向けた各種施策を発案・具現化するための協議を官民連携で実施した。 																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	7	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額		金額		金額				
10	001	消耗品費		200		011	地方創生臨時交付金		92,000								
		R3への繰越額		91,800													
計				92,000		計				92,000							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用する企業数(年間契約)	目標	/	3	4	4	4	D
	実績	/	/	/	/	/	
利用者数(延べ)	目標	/	936	1248	1560	1600	D
	実績	/	/	/	/	/	
【評価】							
<p>●既存の公の施設である「すこやか福祉センター」の主に2F部分の改修を目的として、設計業務委託を契約(森設計事務所)。関連し、これまでの「FMせとうち」を、海の駅1Fに移転し、リニューアルを実施する。</p> <p>また改修した施設の利用促進や、地域内経済の好循環を創出する各種施策を効率的・効果的に実施するため指定管理者制度を導入した。(公募により業者を選定し、オンラインにてプレゼンテーションを実施し、最終候補者を決定。)</p> <p>R3においては、町内における新たなテレワークスペースや宿泊施設整備への助成を目的とした「空間リニューアル助成事業」やSDGs社会への実現へ向けた取組を行うことで、ワーケーション参加企業への誘致を目的とした「藻場育成」や「水素発電システムの導入」などを合わせて実施していく。【R3への繰越事業となる。】</p> <p>※KPIの設定は、本町で事業実施を検討しているブルーエコノミーを軸とした各種施策に対し、賛同する企業等を想定している。多様な職種が交流できる施設として活用し、オープンイノベーションを創出する事業となるよう運営を進める。</p>							

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内で起業するための拠点施設として廃校を活用		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農山漁村振興交付金事業(旧久慈小中学校活用)		
施策の目的	旧久慈小中学校の活用に向け、地域が抱える課題解決を図り、将来にわたって自立的発展を成し遂げていくため、本地域独自の自然景観・文化、農林水産物や水産加工品等、様々な地域資源を十分に活用する。また、農業体験型・滞在型観光メニューの造成や民泊を含む宿泊業者と連携しながら、交流人口・滞在人口の増加を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通過型観光から滞在型観光への転換で、観光客の滞在期間の増につなげる。 ・新たな産業の誘致・起業支援として、旧久慈小中学校の校舎の一部を改修し、ワークショップ施設を整備する。 ・本地域でとれた野菜や果物、魚を素材とした料理、本地域で作られた魚醤で調理された料理を提供する。 ・地域の魅力を積極的に情報発信として、本地域の宿泊施設や食事処、体験プログラムを紹介する。 ・循環型農業を実現し、地産地消カフェを整備する。 		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名			
		必要経費なし							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
宿泊者数(人)	目標	/	/	100	500	600	/
	実績	/	/	/	/	/	
売上高(宿泊・食事・体験)(千円)	目標	/	200	1,000	1,500	2,000	/
	実績	/	/	/	/	/	

【評価】

- ・令和3年度の進捗状況等を踏まえ、令和4年度はワークショップを2回、協議会を3回ほど開催し、事業全体の進捗確認と、より具体的に計画の深化を図っていく。
- ・全体事業計画が誰にでも見やすくわかりやすく、イメージしやすいようにするため、イラストを作成する。
- ・宿泊施設確保に向け、具体的に設計及び建設に取り組む。また、運用方法について、収支の考え方や管理体制などを検討する。また、宿泊施設のオンライン予約や本地域の魅力発信のため、情報発信の仕組み作りを行う。
- ・魚醤づくりのための施設整備を行うため、具体的に設計及び建設に取り組む。資金をクラウドファンディングで集められないか検討する。
- ・本地域は、幕末から明治期の日本の近代化を支えた歴史的な施設や戦跡などが数多く残されているため、これら施設を観光コンテンツとして活用することを検討する。また、感染症対策をしっかりと考慮した上で、実際に戦跡巡りツアーを実施し、観光コンテンツとして確立を目指す。

(令和2年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	情報政策係	担当者名	満尾
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内全域の光ファイバ整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	高度無線環境整備推進事業(国当初予算)		
施策の目的	通信環境の格差を解消し、本町の地域情報化推進を図り、もって町民生活の利便性向上や地域活性化に資する。		
具体的な施策内容	加計呂麻島の一部地区(押角、勝能、諸数、生間、渡連、安脚場、諸鈍地区)における光ブロードバンド情報通信基盤の整備		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	14	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	1	節	2	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	001	負担金				99,400		過疎債				66,200					
								一般財源				33,200					
計						99,400	計						99,400				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6

KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
光ブロードバンド情報通信基盤整備	目標	100	100	100	100	100	A
	実績	100					
	目標						
	実績						

【評価】

請島・与路島の光ブロードバンド情報通信基盤について、これまで国と連携しながら前向きに協議を重ねてきたところであり、令和2年度に国の補助事業を活用しても、総事業費約21億、うち9億が町の負担と試算されたことから、補助事業の選択、町負担の軽減等について再考の余地があると考えている。

今後も国の新補助制度創設等の動向を注視しつつ、既存の補助事業要綱の改正及び特例措置等での対応ができないものか、引き続き、国に働きかけていく。